

JR 線と二次交通を利用した場合は、【様式第5号の2】を提出してください。

(例:大人10人で、木次駅から宍道駅までJRを利用し、宍道駅から貸切バス(見積額が税込 88,000 円)で広島まで移動する場合)

様式第5号の2 (第9条関係) JR線と貸切バス等を利用した場合

J R木次線利用促進事業補助金交付申請書兼実績報告書

木次線活用推進協議会 会長 様

申請日 令和〇年〇月〇日

①申請者 (又は代理人) 旅行会社の場合は、会社名と施設代表者名を記入	住所	〇〇 市・郡 〇〇 町 〇〇番地
	氏名	●●太郎 電話番号(担当) 〇-〇-〇
②利用者 ①と同じ場合は記入不要	住所	市・郡 町
	氏名	電話番号

令和〇年〇月〇日付け 木次線利推協交第〇号 で内示のあった事業について、以下のとおり実施したので、JR木次線利用促進事業補助金交付要綱第9条の規定に基づき報告する。

③利用目的	<input type="checkbox"/> 旅行 <input type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> 遠足 <input type="checkbox"/> 部活動 <input type="checkbox"/> その他 ()	<p>利用された目的に適するものをご選択ください。</p>
④ J R 利用 1	利用日 〇月〇日 利用列車 <input checked="" type="checkbox"/> 普通列車 <input type="checkbox"/> あめつち <input type="checkbox"/> その他 () 利用区間 (乗車) 木次 駅 (〇時〇分発) (降車) 宍道 駅 利用者数 (大人) 10 人、(子ども) 人、(幼児・乳児) 人	<p>利用された列車をご選択ください。</p>
④ J R 利用 2	利用日 月 日 利用列車 <input type="checkbox"/> 普通列車 <input type="checkbox"/> あめつち <input type="checkbox"/> その他 () 利用区間 (乗車) 駅 (時 分発) (降車) 駅 利用者数 (大人) 人、(子ども) 人、(幼児・乳児) 人	
J R 運賃	<input checked="" type="checkbox"/> 乗車券料金 <input type="checkbox"/> 特急券料金 <input type="checkbox"/> 指定席料金 合計 4,200 円【A】	<p>特急券料金・指定席料金の支払いがありましたら、ご選択ください。</p>
⑤貸切バス タクシー レンタカー レンタサイクル	利用する移動手段 <input type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> レンタカー <input type="checkbox"/> レンタサイクル 利用する貸切バス等の会社名および所在地※島根県内の事業所に限る 会社名: 〇〇交通 所在地: 〇〇郡〇〇町〇〇番地 利用日 〇月〇日~ 〇月〇日 出発地 木次 主な目的地 広島 料金 80,000 円 (税抜)【B】	
⑥補助金申請額	$【A】 \times 100 / 110 = 3,818 \text{ 円 } 【C】$ (小数点以下端数切捨て) $【B】 \times 1 / 2 = 35,000 \text{ 円 } 【D】$ (小数点以下端数切捨て) (※Dの金額は上限3万5千円とする。ただし、出雲横田駅~備後落合駅のJR利用がある場合は上限5万円とする。) $【C】 \times 1 / 2 + 【D】 = 36,909 \text{ 円}$ (申請額・小数点以下端数切捨て)	<p>今回の例では、出雲横田駅以南の乗車区間がないため、上限3万5千円となる。</p>

小数点以下の端数は切捨てとなります。

補助金の振込先を記入してください。

⑦振込先 (利用者)	金融機関名	銀行・信用金庫 農協	本店・支店 所
	口座番号	普通 ・ 当座 ()
	(口座名義人かな)	()
	口座名義人氏名		

実績報告時には次の書類の提出が必要となります。

- ①JR 木次線利用促進事業補助金交付申請書兼実績報告書(本書)
 - ②JR 運賃を支払ったことが分かる領収書の写し(乗車区間のわかるもの)
 - ③貸切バスを利用された場合:運送引受書の写し
 - ④タクシーを利用された場合:タクシー利用確認書(様式第6号)
- 例を参考にして提出していただきますようお願いします。